

# 復興担う子どもたちに本を贈ろう！

## 全国の生協から「学校図書館げんきプロジェクト」へ5,000万円<sup>※</sup>の寄付

全国の生協が取り組んできた「つながろうCO-OPアクションくらし応援募金」。募金合計金額は、2億8,551万9,452円となりました(下記、資料参照)。送金は、3～4月にかけて行なわれる予定です。取り組んだ募金活動のうち、「学校図書館げんきプロジェクト」について、紹介します。

### ●本に必要な本を 地元書店から

「学校図書館げんきプロジェクト」は活字文化推進会議と全国学校図書館協議会(略称・全国SLA)が中心となって行なっているもので、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の小・中学校と高校、特別支援学校に本を寄贈するというものです。

特長は「本を必要としている学校へ、必要とされている本を、地元の書店を通じてお渡しする」という点にあります。

プロジェクト発足に携わった読売新聞東京本社の下田 陽さんは、「被災地の学校に本を贈る活動が行なわれていましたが、なかには不用になった本や古い本が大量に贈られ、受け入れ側が困ってしまうという事態も見られました」と振り返ります。

また、近年の学校図書館は「学習の場」としての色彩を強く帯びており、発行年の古いものだと役に立たないこともあります。

### ●プロジェクトの推進力 となった生協からの募金

「学校図書館げんきプロジェクト」は、2011年12月に募金をスタート。スタート直後の寄付が集まらないなか、大きな後押しとなったのが日本生協連の支援だったそうです。

「11年の年末にお話をしました。すぐに賛同していただき、12年春



寄贈された本が並ぶ、福島県双葉郡大熊町立熊町小学校・大野小学校の図書館。大熊町は警戒避難区域に指定されており、両小学校は会津若松市の旧・河東第三小学校の校舎を合同で使用。大熊町は「調べ学習」に力を入れており、図書館整備は必須だった。

に1回目として1,000万円を寄付してくださったのです。この支援で運動に弾みがつきました」と下田さん。さらに12年11月には2,600万円を、13年3月には1,400万円を寄付しました。

プロジェクト全体の寄付金は2013年2月現在で約1億7,900万円だそうです。「日本生協連さんの寄付がいかにか大きいか、分かっていただけだと思います」(下田さん)

下田さんは、「最低でも3年間は続けるという目標を掲げています

が、できればもっと長く続けたいですね。これからの東北の復興を担う若い人たちを育てるという大きな意義があるからです。ぜひ1人でも多くの人たちに賛同していただきたいです」と呼び掛けています。

#### <募金受け入れ先>

(振込先)

■郵便振替

口座記号番号：00140-2-52334

加入者名：全国学校図書館協議会

(通信欄に「げんきプロジェクト」と明記)

■銀行振り込み

取扱銀行 みずほ銀行 江戸川橋支店

口座番号 普通：1137044

口座名義：全国学校図書館協議会  
げんきプロジェクト

#### 【資料】「つながろうCO・OPアクションくらし応援募金」(2013年3月19日現在)

募金先	取り組み生協数	日本生協連への募金入金額
① 福島の子ども保養プロジェクト (11年11月～13年2月28日)	52 生協	57,346,437 円
② 学校図書館げんきプロジェクト (12年4月～13年2月28日)	34 生協	41,029,128 円
③ あんしん福島募金 (12年5月～13年2月28日)	70 生協	102,124,826 円
指定なし	32 生協	85,019,061 円
合計		285,519,452 円